



審査委員長
村上 信夫さん
丹波市エグゼクティブ
アドバイザー

多くのことを教えてくれた
771の「ありがとう」

東日本大震災から3年になる。一般の部の大賞に選ばれた了池創さんは、被災地で遺体捜索に当たった警察官。忘れがたい「ありがとう」だった。被災地のペットを救うボランティアに感謝する中学3年生もいた。

一方、阪神淡路大震災の時、命を救ってくれた呼笛への「ありがとう」も心を打った（一般の部入選作品）。震災の記憶は消してはならない。忘れてはならない。

小・中・高校生の部大賞の遠藤萌花さんは、福島県会津若松市の小学2年生。交通指導員への感謝を述べている。いつもあたりまえのように存在することに対しての気づきが素晴らしい。

「ありがとう」は人を優しい気持ちにしてくれる魔法の言葉だ。「ありがとう」は、忘れていたことや見逃していたことに、気づきを与えてくれる。「ありがとう」の言葉を使い続けていると、自分も他人も肯定することが出来る。

今回も応募作品 771 の「ありがとう」が、多くのことを教えてくれた。

一般の部

大賞

了池 創さん (50)
大阪府

心で読んだありがとう

3・11の時、石巻市のご遺体安置所へ毎日、足を運び続けた中学生のお姉さんと妹さん。ご遺体の中に貴女達のお母さんがいないか泣きながら捜しておられましたね。

遠くから人命救助の為に派遣された私達警察官も必死で捜索しましたが力及ばず申し訳ありませんでした。

派遣の最終日に頂いた「捜してくれてありがとう」というカード。

目では涙で読めなかったけれど、確かに心で読みましたよ。

「ありがとう」は、こちらが送る言葉です。

丹の里賞

友利恵理子さん (22)
沖縄県浦添市

Thankyou ドクター

We are gonna have an emergency surgery.(今から緊急手術をします。)

2年前、アメリカに留学中だった私は、いきなりの腹痛に倒れ病院に運ばれた。

盲腸が破裂寸前、数時間後に手術との診断。

言葉の通じない国で人生初めての手術。

不安からベッドの上で泣いていた私にお医者さんが声をかけてくれた。

「ダイジョブ。イタイジャナイ」私の為にわざわざ日本語を調べてきてくれたらしい。

ドクター、あの時この一言でもとも楽になりました。サンキュー。

小・中・高校生の部

大賞

遠藤 萌花さん
会津若松市立
鶴城小学校2年生

こうつうしどうたいのおじさんへ

いつも学校に行く時に、おうだんほどのところでこうつうしどうのおじさんが立っています。

おじさんは雨の日もあつい日もそこに立ってわたしたちの安全を守ってくれています。

わたしにいつもあたまをなでてくれたりあく手してくれたりします。

おうちからあるいてきて、つくところにはちょっとくたくたですがおじさんがあく手してくれるので元気が出ます。

わたしもおじさんに元気よくあいさつします。

おじさんいつもありがとう。

丹の里賞

藪下 ゆいさん
青垣中学校2年生

私がありがとうと言いたいのは、太陽です。

太陽はつらい朝でも元気に輝いていて、私に元気を分けてくれます。

だから私は朝は嫌いだけど、朝日を浴びるのはとても好きです。

それに太陽は地球から何億キロも離れているのに一番目立っていて、生物が生存するのに必要な光を休むことなく発しています。

どこへ行っても希望の光が射しているのです。

太陽にありがとうは言えないので、太陽の下で元気に遊びたいです。



①「小・中・高校生の部」で「丹の里賞」を受賞した藪下ゆいさん②入選者のみなさん③多くの参加者が入賞・入選者を祝いました④さとう宗幸さん(写真右)と村上信夫さん(写真左)によるトークライブ⑤「青葉城恋唄」など、3曲を熱唱。会場は大いに盛り上がりました



市では、平成23年度から、「ありがとう」の心が普段の生活の中に息づく地域づくりをめざして、「ありがとうプロジェクト」に取り組んでいます。

3月9日(日)には、全国43都道府県から寄せられた711点のありがとうのメッセージの中から、入賞・入選作品を発表する第3回全国公募「丹の里ありがとう大賞」表彰式が行われ、「小・中・高校生の部」「一般の部」の各部門から、「大賞」1点、「丹の里賞」1点、入選13点、合計30点の心温まるありがとうが発表されました。

オープニングでは、村上信夫審査委員長が、「大賞」「丹の里賞」の4作品を朗読。続いて、入賞・入選を果たしたみなさんには、辻市長と村上

上信夫審査委員長から、表彰状と市の特産品などを詰め合わせた副賞が贈られました。

第2部では、「青葉城恋唄」などのヒット曲で知られる歌手でタレントのさとう宗幸さんと村上信夫さんによるスペシャルトークライブが行われました。3年前の3月11日に、仙台市内で自ら被災し、以降、各地の避難所を回り、うたを歌って被災者を支援する活動を続けてきた宗幸さん。「歌うことで、自分の曲を知らない世代にも勇気を与えられたことにありがとう」と支援を通して抱いたありがとうのエピソードが語られました。また、多くの被災者を勇気づけた復興支援ソング「虹を架けよう」を歌い、会場には、訪れた人々の手拍子により、一体感が生まれました。



「あのとき言えなかったありがとう」 第3回全国公募 まごころのさと 丹の里ありがとう大賞表彰式

ライブピアいちじまで、3月9日(日)、第3回全国公募「丹の里ありがとう大賞」表彰式が行われ、「あのとき言えなかったありがとう」をテーマに、全国から寄せられたありがとうメッセージの入賞・入選作品が発表されました。